

1次乳房再建の有無に関わらず nipple-sparing mastectomy を行った乳癌の 検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年11月30日～2024年12月31日

〔研究課題〕

1次乳房再建の有無に関わらず nipple-sparing mastectomy を行った乳癌の検討

〔研究目的〕

乳頭乳輪温存乳房全切除術(nipple-sparing mastectomy : NSM)は整容性に優れた術式として、一般的に乳房再建を前提として行われています。しかし、乳房再建は希望されないまでも乳頭乳輪複合体(nipple-areolar complex : NAC)の温存を希望される患者さんは一定数存在します。乳房再建の予定のない患者さんに対するNSMの効果と安全性については確立されていません。

〔研究意義〕

NSMでは乳房切除術と比較して局所再発などの安全性に問題なく、NACを温存することによる喪失感の軽減が得られる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2006年9月から2021年8月までの期間に帝京大学医学部附属病院で1次再建の有無に関わらず、NSMを行った乳癌の患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、情報の加工を行います。研究終了時に情報を提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 池田達彦 職名 帝京大学医学部 外科学講座 講師
所属： 帝京大学医学部 外科学講座／帝京大学医学部附属病院 外科
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)、内線 16276